

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」について(第75報)
-平成27年2月17日13時46分頃の岩手県沖の地震-

地震の概要

発生日時：2月17日13時46分頃

マグニチュード：5.7(速報値)

場所および深さ：岩手県沖、深さ約50km(速報値)

発震機構等：北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型(速報)

震度：【最大震度5強】青森県階上町(はしかみちょう)で震度5強、岩手県普代村(ふだいむら)で震度5弱を観測したほか、東北地方を中心に、北海道から関東地方の一部にかけて震度4~1を観測しました。

※今回の地震は「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震と考えられます。

○ 余震活動の状況

17日14時40分現在、震度1以上を観測した余震は2回発生しています。(震度1:2回)

○ 防災上の留意事項

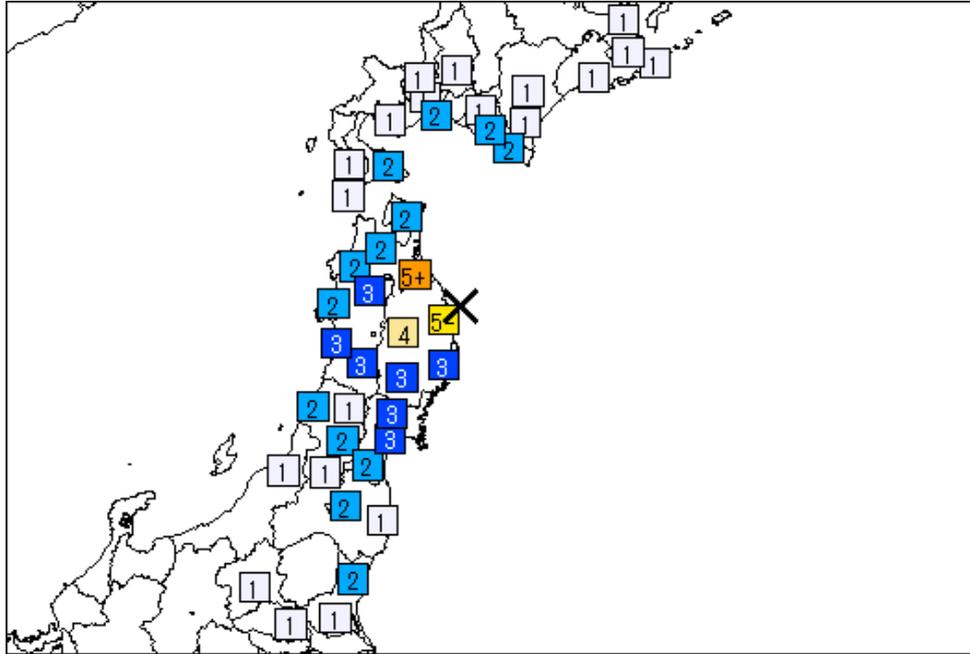
この地震による津波の心配はありません。揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっているおそれがありますので、今後の余震活動や降水の状況に十分注意してください。

○ 緊急地震速報の発表

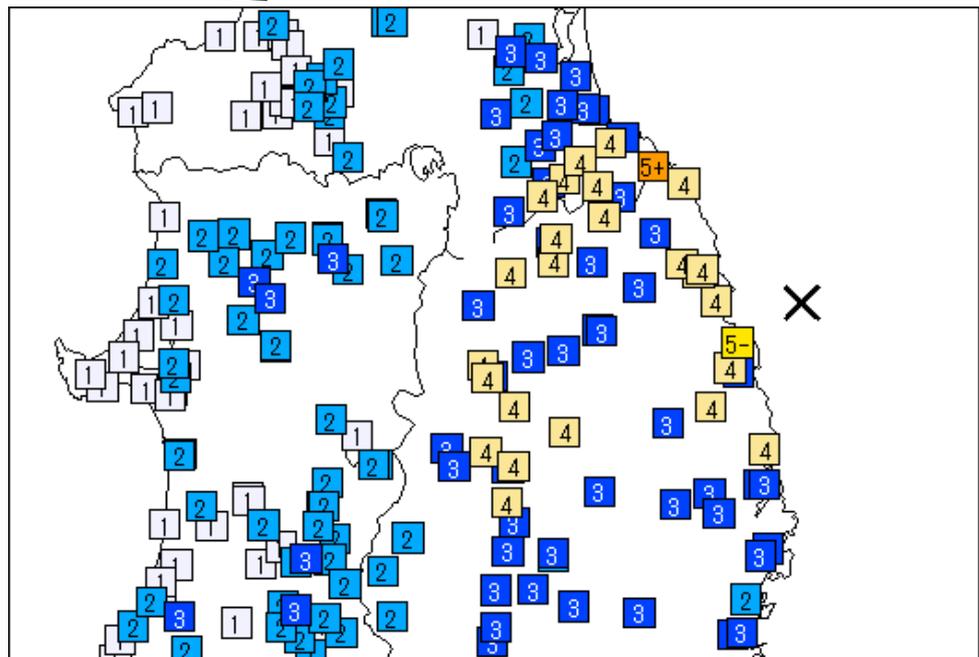
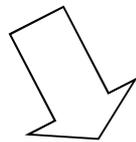
この地震に対し、地震検知から3.2秒後に緊急地震速報(予報)を発表しました。なお、緊急地震速報(警報)については、発表基準(最大予測震度が5弱以上)に達しなかったことから発表しておりません。

平成27年2月17日13時46分頃の岩手県沖の地震

震度分布図



各地域の震度分布



凡例	
7	震度7
6+	震度6強
6-	震度6弱
5+	震度5強
5-	震度5弱
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

×:震央

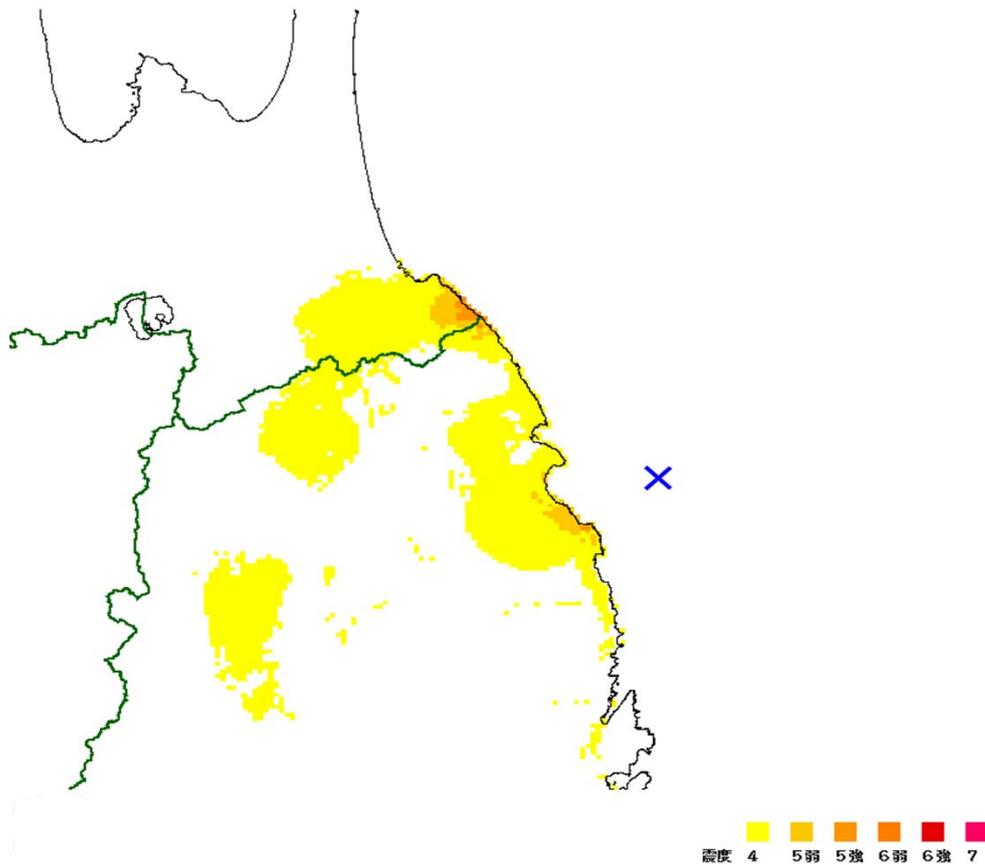
各観測点の震度分布図（震央近傍を拡大）

平成27年2月17日13時46分頃の岩手県沖の地震

推計震度分布図

0

329



[解説]

震度5弱以上の地域では、物が倒れたり、ガラスが割れるなどの被害が発生している可能性があります。

<推計震度分布図利用の留意事項>

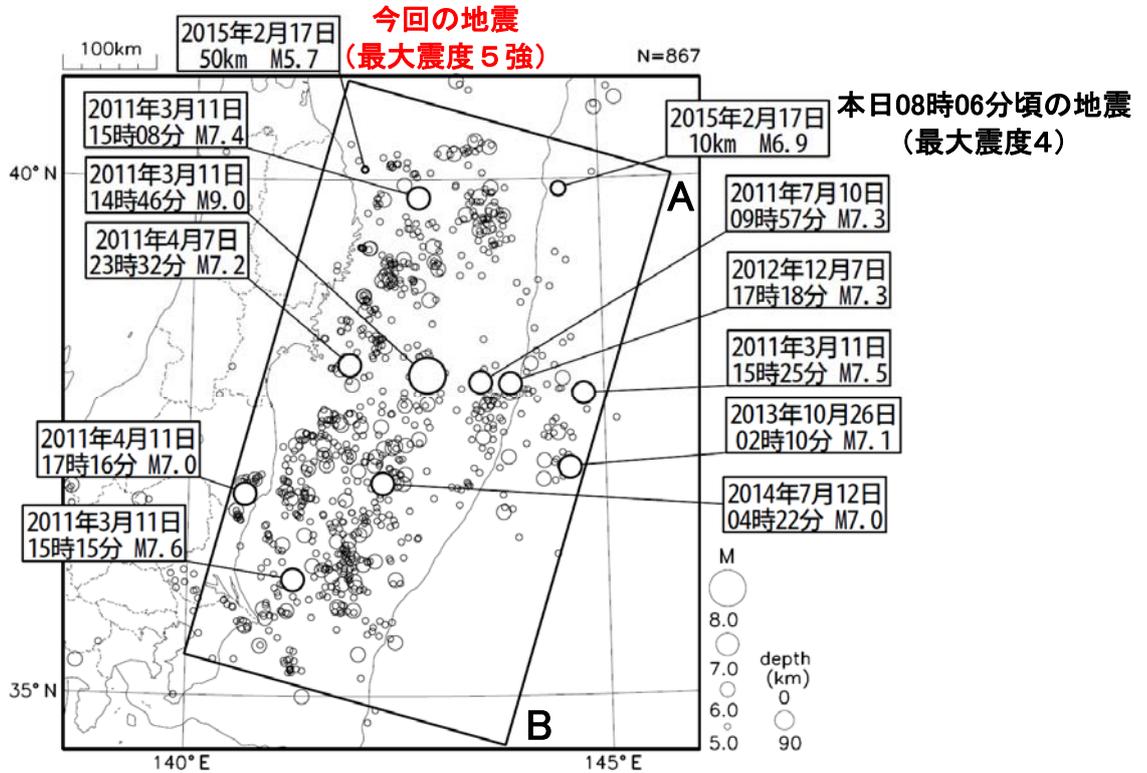
地震の際に観測される震度は、地盤の違いなどにより、ごく近い場所でも1階級程度異なることがあります。また、震度を推計する際の誤差などにより、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがあります。

推計震度分布図の利用にあたっては、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目してご利用ください。

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震 余震の発生状況

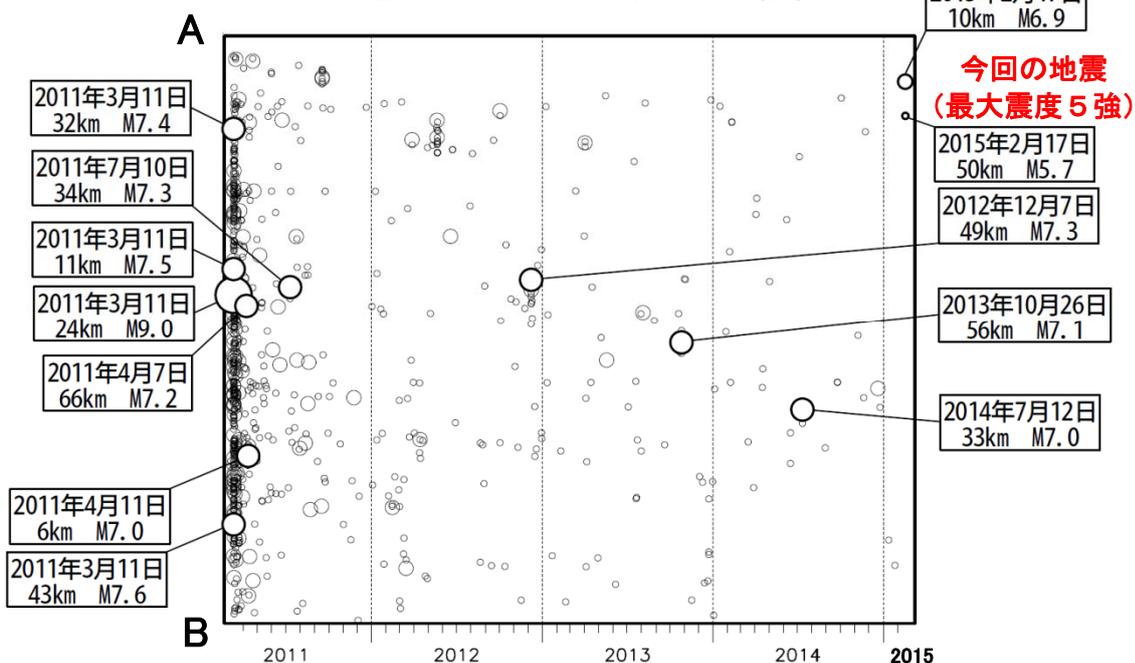
震央分布図

(2011年3月11日12時00分～2015年2月17日14時00分、深さ0～90km、M \geq 5.0)



本日08時06分頃の地震 (最大震度4)

上図矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



横軸は時間、縦軸は上図のA-Bの範囲を示す。
発生した時刻にマグニチュードの大きさに応じた丸を示した。

2015年02月17日13時46分頃の地震の発震機構解 CMT解(速報)

北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

[C M T 解(速報)]

Mw=5.4

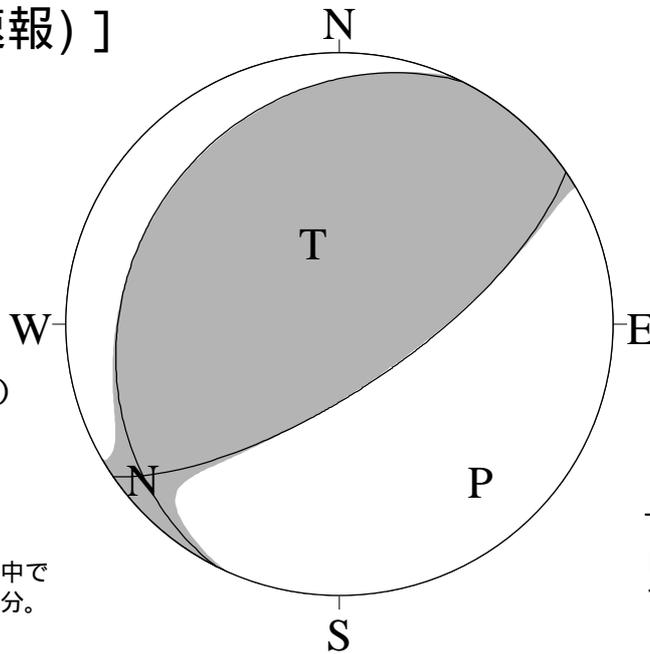
震源(セントロイド)

北緯 40度2分

東経 142度6分

深さ 約55km

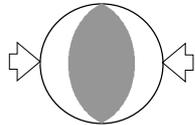
セントロイドとは、地震を起こした断層面の中で地震動を最も放出した部分。



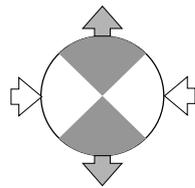
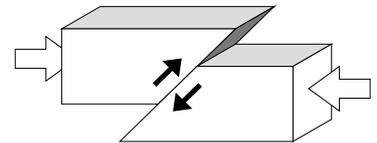
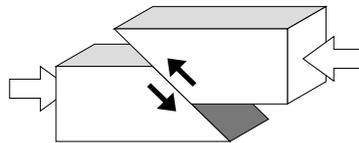
下半球等積投影法で描画
P：圧力軸の方向
T：張力軸の方向

発震機構解 [CMT解] について

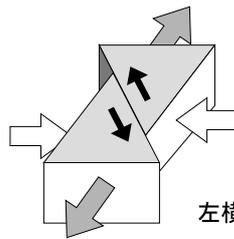
圧力軸に注目した場合の例



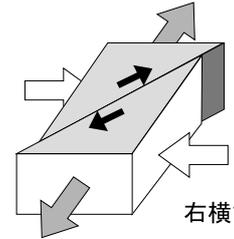
逆断層型



横ずれ断層型

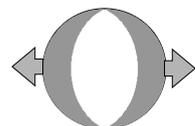


左横ずれ

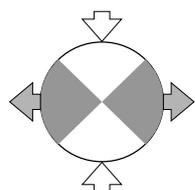
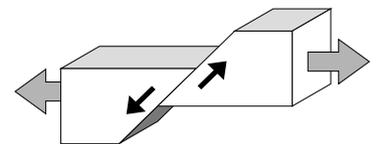
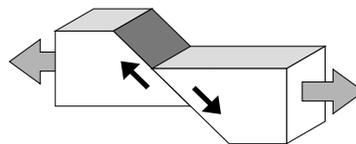


右横ずれ

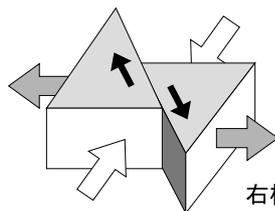
張力軸に注目した場合の例



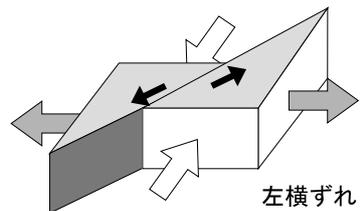
正断層型



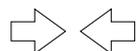
横ずれ断層型



右横ずれ



左横ずれ



圧力(押す力)



張力(引く力)



断層がずれる方向